

特別活動学習指導案

日 時：平成16年10月26日(火) 5校時

場 所：北校舎3階 3年3組教室

学 級：3年3組 (男子18名, 女子16名, 計34名)

授業者：教諭 佃 拓生

1. 主題名 「生活を見直そう」

2. 主題について

(1) 主題について

特別活動の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を測り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」ことである。

本主題は、特別活動の内容A学級活動(3)「学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」の「学級の学業生活の向上」にあたるものとして、学業生活として日常生活の見直しと向上に関する課題を見だし、取り組む過程で課題を解決する力、自己実現意欲を育てることをねらいとしている。

これまでは、学級全体として集団の目標が達成されたかどうかという視点が強く、「行事は成功したのか」「学級は団結できたのか」といった曖昧な言葉でくくられることが多くなりがちだった。

課題を挙げて具体的な行動目標を示そうとすると、互いの糾弾、決まり事の徹底に追われる危険性もはらんでいた。

そこで、自分の進路と本格的に向き合うこの時期に、学業生活をとりあげることで、個人的な面を強調しつつ、集団内における自分の課題を前向きにかつ具体的にとらえるための活動が必要とであると考えた。現状を再認識し、「自分はどうかあればよいか」「どう生活していけばよいか」という視点をもたせて取り組むことで、学業生活の向上についての意識を高めていきたい。

(2) 生徒について

昨年5月の2学年運動会では「どうしてみんな燃えてるのか理解できない。」と話した生徒達が、徐々に学級としての可能性に手応えを見だし、様々な活動を通して成長してきた。今年度は、6月の校内陸上記録会や10月の文化祭の取り組みでは、目標達成に向かって男女ともよく協力し団結し、ひたむきに取り組むことができるようになっていた。

積極的に働きかけるリーダー型の生徒は少なく、どちらかといえばフォロワー型の生徒が多い。

少数の女子リーダーと行動的な男子ムードメーカーがうまくかみ合い、お互いの個性を受け入れる雰囲気生まれてきた。集団として系の指示に従って行動することはできるが、系を中心とした一人ひとりの責任感に頼りきってしまい、系が動かないと集団が機能しない欠点がある。

生徒自身は、そんな自分たちの学級を、「本番で力を発揮できる学級」であると感じている。

授業では、常に率直で活発な発言が見られ、知的好奇心を前面に出して学習に取り組んでいる。

定期テストの結果は、学年でもトップクラスの平均点になっているが、2極化の傾向にあり、家庭学習なども、まだ3年生に適したレベルとなっていない実態があると屈われる。

一方、「はじめがない」「自己中心的」などが、今もなお生活面の課題にあげられている。

自らの可能性を切り開き、将来の生き方を考え行動する態度や能力を身に付けさせたい。

(3) 指導について

4月から「班ノート」の取り組みを開始し、学級通信で常時紹介するなど、一人ひとりの考えや頑張っていることを、学級全員で共有し個々の存在感を認め合えるように工夫してきた。

個々の成長なくして学級の成長はなく、学級の成長は個々の成長である。行事でも、学習でも同様のスタンスで、生徒たちが現状をとらえ具体的行動目標を持つことができるように配慮している。個々の前向きな態度の育成と自らの生活が学級と深く結びついていることへの理解が進むことが、学級を向上させる基盤となると考える。

そこで今回は、「学習についての実態調査」を行い、1年前のデータと比較検討をし、自らの学習の状況を振り返ると共に、学級全体としての変化にも注目させていきたい。

さらに、学習を中心とした1日の生活について、「意識」「時間」「内容」の3つの視点で整理し、個々の進路実現に向けて、それぞれの改善策について考えさせる。

小グループで、ブレーン・ライティングの手法を用いて、交流することにより、「進路実現に向けて自分の生活をどう変えていくのか」の見通しが生まれ、具体的に行動しようとする実践力につながってほしいと願う。

3. 指導計画

- ① 事前指導Ⅰ「アンケート調査の実施」----- S H R
- ② 事前指導Ⅱ「1週間の生活時間調査」----- S H R
- ③ 進路実現に向けて、自分たちの生活を見直そう ----- 1時間（本時）
- ④ 事後指導 ----- S H R

4. 特別活動と他領域との関連

総合的な学習の時間（本校では「街道の時間」と呼ぶ）では、全体テーマを「人間の生き方」としている。3年の後期からの「自分史作成」と関連させて、生き方について考えていく。

学習面については、これまで教科を中心に取り組んできたものを基盤に、「学業生活」の視点で、個々の向上から学級の向上、そして進路実現へつながるステップとして、「生活の見直し」についての学習を進めようとするものである。

5. 本時について

(1) 本時の目標

- ① 学業生活の向上に、自分自身の生活改善が必要であるという視点に気付き、課題について考えることができる。
- ② 仲間のメッセージをしっかり受け止め、自分の課題を解決しようとする取り組みができる。
- ③ 進路実現に向けて、自分自身は生活をどう変えていくのか、文章にまとめることができる。

(2) 本時の評価の観点

- ① 学業生活の向上に、自分自身の生活改善が必要であるという視点に気付き、課題について考えることができたか。
- ② 仲間のメッセージをしっかり受け止め、自分の課題を解決しようとする取り組みができたか。
- ③ 進路実現に向けて、自分自身は生活をどう変えていくのか、文章にまとめることができたか。

(3)本時の展開

段階	生徒の活動	教師の指導・支援	資料等	評価
導入	1. 自分が今頑張ろうとしていることを発表する。 2. 本時の課題を確認する。	1. 進路実現や学習面、生活改善につながる視点をもたせる。 2. 個人の改善が、学級の向上に直結することを意識付ける。	学活資料 ビフォー編	▲課題の必要性を理解して考えようとしているか。
5分	進路実現に向けて、自分たちの生活を見直そう。 ～ビフォーアフター学習編～			
展開	3. 学習の実態調査についてを見比べて、比較検討した結果を発表する。 4. 自分の1週間の生活時間をリフォームする。 5. プレーン・ライティング形式で交流し、相談し合う。 ・学習方法 ・時間の使い方 ・学校生活全般 ・やる気 …etc	3. 話し合いをしながら学習面の変容を読み取らせ、「意識」の見直しをさせたい。 4. 習い事の時間帯を固定させて「時間」の使い方について見直しをさせる。 5-0. 交流の中で「内容」の見直しをさせたい。 5-1. 自分の相談事などを書く。 5-2. グループでお互いに返事を書き合う。 5-3. 時間を区切って、なるべく無言で作業させる。	学級通信 No229 ～No234 学活資料 アフター編	▲相談にのることで自分の課題解決に足りない視点に気付いたか。
35分				
終末	6. 自分が生活をどのように変えていくのかをまとめる。 7. 本時の授業の感想を書く。 8. 本時を振り返り、感想を発表し合う。	6. 本時を振り返り、校内生活を含めた決意をまとめさせる。 7. 授業の感想を書かせる。 8. 決意のほうは個々の内で大切にさせたい。		▲自分と学級の生活を見直せたか。
10分				

道を拓く < 盛岡市立黒石野中学校
3年組 番氏名

1週間の生活時間を17フォームしよう!

< before >

	10/19(火)	10/20(水)	10/21(木)	10/15(金)	10/16(土)	10/17(日)	10/18(月)
5:00							
6:00							
7:00							
8:00	■	■	■	■			■
9:00	■	■	■	■			■
10:00	■	■	■	■			■
11:00	■	■	■	■			■
12:00	■	■	■	■			■
13:00	■	■	■	■			■
14:00	■	■	■	■			■
15:00	■	■	■	■			■
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							
1:00							
2:00							

< 記入の仕方 >

- ① まず「習い事(塾等を含む)」の時間を記入する。
- ② 次に「起床」と「就寝」の時間を記入する。
- ③ 残った生活時間の中で、「学習」の時間を記入する。

< after >

	10/26(火)	10/27(水)	10/28(木)	10/29(金)	10/30(土)	10/31(日)	11/1(月)
5:00							
6:00							
7:00							
8:00	■	■	■	■			■
9:00	■	■	■	■			■
10:00	■	■	■	■			■
11:00	■	■	■	■			■
12:00	■	■	■	■			■
13:00	■	■	■	■			■
14:00	■	■	■	■			■
15:00	■	■	■	■			■
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
0:00							
1:00							
2:00							

< 学習の悩み >

	より	より	より